

◆川崎文化地図



アルテリッカ 2009 プレイベント

新ゆりプレ芸術祭美術展を開催して



麻生区在住 佐藤勝昭(美術展実行委員長)

本誌 29号(2006年2月発行) p35の「芸術の街とはいうけれど」という小文に書きましたように、私たちは、長年にわたり、「麻生区に本格的なギャラリーを」という願いを持ち続けてきました。市当局と川崎市文化財団のご努力によって、ようやくその願いの一部がかない、2008年9月になって、新百合トウェンティワン多目的ホールにギャラリーとして使える設備が設置されました。そのこけら落としとして、川崎市在住の有名画家6名(大矢紀、岡信孝、田中岑、原健、森秀雄、渡辺豊重)による「六つの軌跡展」が開催されましたが、広報期間の短さなどのため、あまり多くの参観者には恵まれませんでした。

ご承知のように、2009年4月から5月にしんゆり芸術祭2009(アルテリッカしんゆり)が企画され、9会場を使って音楽・映画・演劇の祭典が開催されましたが、残念なことにこの行事に美術展は含まれておらず、当ホールでは「ドラえもん原画展」のみが開かれました。

「地元で根ざした美術家や美術愛好家による作品展示を」という菅原敬子麻生区文化協会会長の強い働きかけが実って、2008年8月末にホールを管理する川崎市文化財団から、「2009年3月に麻生区美術家協会と麻生区文化協会の共催で美術展をやりませんか」というお誘いがかかったのです。

準備期間が非常に短いので心配でしたが、「せっかくの機会であるから、美術展を成功させて、本格的なギャラリー設置へ向けてアピールしたい」という合意ができ、両者の代表からなる実行委員会が、2008年11月から動きだしたのです。

文化財団からは、共催の承認とアルテリッカのプレイベントとしての位置づけをいただき、会場使用料・設備使用料の半額負担、ウェブ掲載など、全面的なご支援をいただくことになりました。麻生区地域振興課からは、しんゆり芸術のまちづくりフォーラムのロゴ使用許可をいただき、ウェブ掲載もいただきました。

実行委員会のスタートからは、美術家協会・文化協会美術工芸部の委員にとって、未知との遭遇の連続でした。3回の実行委員会のほか、現場下見を含むトウェンティワンホール担当者との何回かの打合せで、2月中旬には開催への手応えを感じるようになりました。ホールとしても、貸し美術展としてははじめての経験でしたから、実行委員とホール担当者がいっしょになって作り上げたといっても過言ではないでしょう。

案内はがき2000枚・ちらし2000枚・ポスター200枚を作りました。黄色を背景に目立ちやすいデザインとしました。ポスターのキャッチコピーは「魅せます、あさおの美術力」です。ありがたかったのは、文化財団が印刷費全額を負担していただくことができました。当初は、実行委員会で負担することを考えていたので大助かりでした。はがき・ちらし・ポスターは実行委員長が「イラストレータ」ソフトで完全版下を作成し、ウェブ入稿することによって大幅な経費節減をはかりました。



新ゆりプレ芸術祭美術展は、2009年3月3日から8日までの6日間にわたり開催されました。

麻生区美術家協会会員16名が100号から200号におよぶ大作を披露。麻生区文化協会も書の大作5点を展示しました。麻生市民ギャラリーではこのような大作を展示できませんでしたから、天井の高いトウェンティワンホールならでのことでした。心配した照明も、スタッフのご努力により作品を受け立たせる極めて適切なものになりました。

圧巻だったのは、会場中央に、麻生区生け花協会のメンバーによる16名の生け花共演「麻生の春」が展示されたことです。生け花展示に貸与いただいた自然木も好評でした。生け花展示は神奈川新聞の紹介記事で大きく取り上げられました。さらには写真・陶芸の力作が並び、麻生の美術力の実力を示すことができました。

また、注目を集めたのは、麻生区文化協会が24年にわたって主催してきた「民芸の女優さんを描くデッサン会」の参加者による女優さんのデッサン作品25点の展示でした。出品者最高齢は94歳の男性でした。

期間中、1622名もの参観者がありました。地域に根ざしたネットワークの力があればこそこのことです。本展の成功は「あさおの美術力」を示す好機となりました。この成功を受けて、2010年3月2日～7日の6日間に、しんゆり芸術祭2010(アルテリッカしんゆり)のイベントとして位置づけた「アルテリッカ新ゆり美術展」を開催することが決まりました。このような展示を続けることで、いつか北部地区に本格的な常設美術展示場が設立される日がくることを祈っています。

参観者からの感想の一部

- ・ 麻生区の方々の「美術力」の高さを見せつけられた気分です。
- ・ 展示会場広々として見やすく、心が洗われる作品も見つかり満足して帰れます。ありがとうございました。
- ・ 絵画・書道・華道 コラボレーションがとても Good です！
- ・ 大作を拝見させていただきました。ありがとうございました。
- ・ 絵からもその人の魂というか気を受けるものですね。
- ・ 迫力があっておだやかなつぼ3点すばらしいです。
- ・ 自然木にいけられた生花が印象的でした。ありがとうございました。
- ・ 生け花の世界の奥深さ、こめられた思いを感じたひとときでした。色々な種類のお花が愛らしく、コントラストもバランス良く思いました。たくさんの方達の合作を拝見でき、素晴らしい時間を有り難うございました。
- ・ 書がすばらしく感動しました。こうした催しは大歓迎です。
- ・ 雨の中でしたが、とても心豊かな気持ちになりました。
- ・ 右のホールの正面の衝立が途中で切れているのが残念です。
- ・ 正面の壁が見えるのが残念です。照明も暗い感じがしますが、工夫されるとよいと思います。

実行委員会の構成

実行委員

麻生区美術家協会選出の委員

安富信也（代表：洋画）、佐藤英行（洋画）、矢野素直（洋画）

麻生区文化協会選出の委員

菅原敬子（会長）、笠原恒子（副会長：書）、千坂隆男（副会長：写真）、

山本絢子（美術工芸部会長）、阿部芳子（運営委員：生け花）、岩田輝夫（陶芸）

委員長 佐藤勝昭（麻生区美術家協会事務局、麻生区文化協会役員会総務：洋画）

